

## 目 次

I	令和6年度事業概要	
1	運営基本方針	1
2	組織・事務分掌・職員構成	4
3	当初予算	5
II	令和5年度事業概要	
1	主な取組	6
2	刊行物	7
3	運営費状況（決算）	7
III	行事実施状況	
1	展示事業	9
2	教育普及事業	10
3	他館との連携	13
IV	統計	
1	貴重資料等の整備概況	15
	(1) 貴重資料収集状況 (2) 受入資料内訳 (3) 主な新収蔵資料	
	(4) 映像資料等の整備状況	
2	利用状況	16
	(1) 企画展観覧者数 (2) 利用者数	
	(3) 職場体験・研修・見学の受入	
V	資料編	
1	文学館概要	17
2	沿革	18
3	風花随筆文学賞	19
	(1) 事業内容 (2) 実行委員会 (3) 令和5年度理事	

## I 令和6年度事業概要

### 1 令和6年度運営基本方針

ふるさと文学館は、福井県教育振興基本計画（令和2～6年度）を踏まえ、文学を中心とした幅広い活動が可能な施設として、県立図書館、県文書館をはじめとした県内外の関係機関と連携しながら、多くの人たちがふるさと文学に親しみ、文学を楽しむことができるよう、以下の取組を進めます。

#### (1) 資料の収集・整理、調査・研究

福井県ゆかりの作家や福井県が舞台となった作品に関わる資料を積極的に収集・整理し、調査研究を進めます。

##### ① 資料の調査・収集と整理

- ・福井ゆかりの作家や作家の家族、全国文学館、古書店等と連携し、資料の情報提供や総合的な資料収集に努めます。

##### ② 情報提供と活用

- ・自館所蔵資料の分類、整理、デジタル化を進め、資料情報を図書館、文書館と統合したシステムで検索できるように整備します。
- ・これまで未展示の資料をプロログゾーンなどで紹介し、自館所蔵資料の活用機会を増やします。

#### (2) 文学の魅力の発信

福井ゆかりの作家の自筆原稿や愛用品など貴重な資料を展示し、多くの人たちが広く文学者や文学作品に親しむ機会を提供します。

##### ① 全国文学館等と連携した展示

- ・おしどり文学館協定を結んでいる吉村昭記念文学館や、全国文学館協議会との連携を図り、福井にいながらにして県外の様々な文学・作家に触れる機会を提供します。
- ・他の文学館で開催された巡回企画等を調査・誘致し、多彩な展示を行う準備を進めます。
- ・県内文芸創作グループ等との連携企画を行い、創作活動や利用者同士の交流促進の場を提供します。

##### ② 多彩な資料を用いた展示

- ・絵本や原画、写真など子どもから大人まで家族で楽しめる展示をきっかけとして、多くの人々の来館を促進します。
- ・映像、音声資料を効果的に使い、展示室だけでなく、ホームページを活用して来館しなくても福井ゆかりの作家や福井を舞台とする作品を身近に感じられ

る展示を行います。

- ・小中学生向けの展示や資料作成、高校と連携したイベント、大学生イベント企画の参画などを通し、文学館への新たな関心を喚起します。

### (3) 文学活動や交流の支援

多くの人たちが福井ゆかりの作家や文学などについて、広く深く知り、携わることができるよう、講演会や文芸創作講座などの活動を進めます。

#### ① 図書館、文書館との三館連携

- ・三館が持つ特徴を生かした統一テーマでの展示を行い、相互に利用者の循環を図ります。
- ・文学関係団体と連携し、三館の機能・設備を活用したイベントを実施します。

#### ② 講演会、文学ゼミ

- ・著名作家や福井ゆかりの作家による講演会や文芸創作講座、映画上映会など文学に関する多様なイベントを開催します。
- ・文芸誌の現役編集者による小説家養成講座を行い、作家を志す若者の執筆活動を支援します。

#### ③ 情報発信

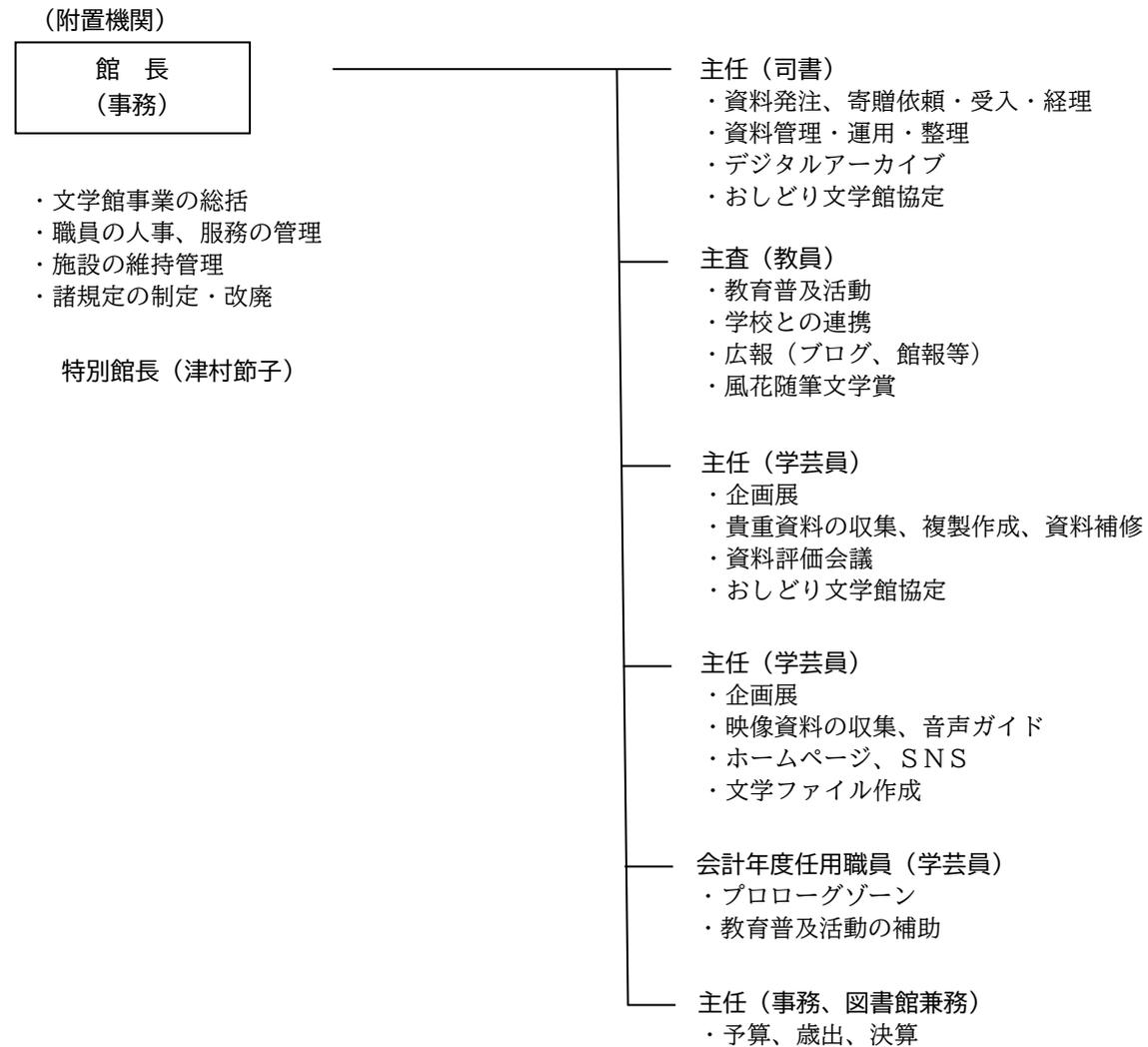
- ・HP、メルマガ、SNSなどのネットワークツールを活用し、幅広い利用者への情報発信に努めます。
- ・子ども向けパンフレットやワークシートなどを製作し、児童生徒が利用しやすい環境を整備します。

## 令和6年度 取組と達成目標 一ふるさと文学館

	通常・例年・継続	チャレンジ・挑戦・新規
資料の収集 ・整理、 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 貴重資料、映像資料の収集、整理 資料購入・受入 (R5:182点)</li> <li>(2) 所蔵資料のデジタル化(R5:1,120コマ)</li> <li>(3) レファレンス対応 (R5:18回)</li> <li>(4) デジタルアーカイブ画像公開件数25件</li> <li>(5) 公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握 ・資料調査 2回</li> <li>(6) 映像資料の有効活用 ・映像資料リストの作成</li> <li>(7) 福井ゆかり作家資料の最新情報の把握 ・全国文学館への資料情報提供依頼1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 映像・音声資料の公開準備</li> <li>(2) デジタルデータを用いた収蔵資料の周知 ・ホームページ、SNSでの収蔵資料紹介</li> <li>(3) 未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用 ・映像・音声資料のピックアップ紹介8点</li> <li>(4) SNSを活用した情報収集 ・アンケート機能を利用した調査</li> </ul>
文学の魅力 の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 常設展・企画展の実施 14回 ・企画展2回、新収蔵展1回、特集展示9回、常設展示2回</li> <li>(2) 吉村昭記念文学館との連携 ・おしどり文学館協定展示 1回</li> <li>(3) 全国文学館協議会との連携</li> <li>(4) 図書館内カフェとの連携 ・コラボ企画 2回</li> <li>(5) 県内文芸団体との連携 ・文学の小路での文芸作品展 6回</li> <li>(6) 来館者の利用促進 ・スマートフォンを利用した音声ガイド、 企画展のテーマに関するイベント開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 絵本原画や書などを入れた展示、県外の 著名な作家や作品等の紹介 ・大型企画展の実施、県外の作家作品展示 2回</li> <li>(2) 中高生向け教育・普及活動の強化 ・子ども向けツール作成2件 ・中高校生向けワークショップ等イベントの 開催</li> <li>(3) 作品の成り立ちがわかる作家の制作風景など の映像を取り入れ、展示に広がりを持たせる。 ・SNSを取り入れた展示</li> <li>(4) 他館展示パネルなどの活用 ・他館保有パネルの展示 2回</li> </ul>
文学活動や 交流の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 著名作家、福井ゆかりの作家等の講演会 ・講演会、文学講座等 16回</li> <li>(2) 作家を志す若者への支援 ・文学ゼミ参加人数 のべ181人</li> <li>(3) SNSを活用した展示・イベント情報発信 ・SNS投稿回数 280回、うちインスタグ ラム 80回</li> <li>(4) 風花随筆文学賞の円滑な運営</li> <li>(5) 来館者志向、ニーズの把握 ・利用者アンケート結果の分析、活用</li> <li>(6) 効率的な広報の実施 ・広報物の配布計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新たなPR先の開拓(若年向け)</li> <li>(2) 県内文芸団体の交流 ・文学フェスタの充実</li> <li>(3) 学校との連携 ・学校との連携展示 1回</li> <li>(4) 三館連携の企画の実施 ・統一テーマによる展示 2回</li> <li>(5) 児童生徒の来館促進 ・文学ファイル(子ども編)作成</li> <li>(6) デジタルサイネージの活用 ・サイネージ映像の更新 4回</li> </ul>

## 2 組織・事務分掌・職員構成

(令和6年4月1日現在)



	人数	うち 学芸員	うち 司書	うち 教員
館長	1			
主任	3	2	1	
主査	1			1
会計年度 任用職員	1	1		
計	6	3	1	1

兼務（図書館企画調整グループ）

主任	2
----	---

## 3 令和6年度当初予算

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
資 料 整 備 費	5,962	原稿等資料購入 委託（映像制作、複製作成、補修、デジタル化等）
展 示 事 業 費	11,993	報償費 委託（展示造作、デザイン等） 使用、賃借料
調 査 研 究 費	169	研修講座負担金 資料調査謝礼
教 育 普 及 費	3,974	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・文学フ ェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等
ふるさと文学館利用拡大事業	417	音声ガイド収録・配信 おしどり文学館事業
管 理 運 営 費	10,768	報償費（特別館長、資料評価会議等） 受付業務委託 展示設備等メンテナンス
計	33,283	

## Ⅱ 令和5年度事業概要

### 1 令和5年度の主な取組

#### (1) 展示事業の充実

開館8周年を迎えた「新収蔵品展2023」では、『日本百名山』で知られる作家・深田久弥の没後50年以上を経て発見された日記6冊を中心に、ゆかりの資料を紹介した。

夏季企画展は、「堀内誠一 子どもの世界」を開催した。『ぐるんぱのようちえん』など人気作を数多く残した絵本作家・堀内誠一の多彩な作品の中から、子どもをめぐる物語に着目し、美しい原画約100点を展示した。クイズラリーなども実施し、堀内誠一の世界を楽しむ夏休みの家族連れでにぎわった。

秋季企画展は、俵万智展「#たったひとつの「いいね」『サラダ記念日』から『未来のサイズ』まで」を開催。現代日本を代表する歌人のひとりである俵万智が、中学・高校時代を過ごした福井県で初の大型個展となった。約40年にわたる歌業の中から時代を代表する約300首を厳選し、俵万智の言葉の世界を紹介した。斬新なインスタレーションによる展示が注目され、過去最高の入館者数となった。

プロログゾーンにおいては、吉田正俊没後30年特集展示、図書館・文書館との3館連携特集「福井のこわい話」、北陸新幹線福井・敦賀開業記念「福井の旅と文学」など特集展示5回、「祝 荒川洋治氏大岡信賞受賞」などタイムリースポット5回を開催し、観覧者数は、76,405人となった。図書ゾーンのギャラリー文学の小路では、県外の新美南吉記念館、群馬県立土屋文明記念文学館や、県内各種文化・文芸団体との連携により5回の展示を行い作品発表の場として活用された。

#### (2) 教育普及事業の開催

作家講演会は、夏季企画展に関連して、堀内花子氏と林綾野氏によるトークイベント「父と絵のこと 子どもたちへのまなざし」を開催した。荒川洋治氏による「「世界の名作」の輝き」、秋季企画展の俵万智氏によるトークイベントは、多くの方に喜ばれた。文学フェスタでは、宮下奈都×谷崎由依トークイベント「福井で生まれ育つこと、小説を書いていくということ」、編集者で書店経営の佐藤実紀代氏によるワークショップ「創作を志す人のための本づくりワークショップ」を実施した。文学講座は、深田森太郎氏による「深田久弥と福井」など3回開催した。文章講座は3回、創作講座は、鈴江敏郎氏の「「戯曲とは演技者へのラブレター—役者のために書いてみよう」を含め2回開催した。その他、文学フェスタでも、県内の同人誌グループの交流促進のため、同人誌スタンプラリーやグループセッションを開催、若い世代の参加も多くみられた。

また、中高校に講師を派遣する出前文芸創作教室は、中学校3回、高校4回、俳句、短歌、詩、脚本、エッセイをテーマにそれぞれの講師を派遣し実施した。県内高校に講師を派遣するオーサートークでは、高校からの希望があった宮島未奈氏が高校1校を訪れ、1校は配信にて講演を行った。

#### (3) 資料収集・保存

中野重治の小説「指輪」原稿、三好達治のフランス語で書かれた卒業論文などのほか、福井県出身の門下生岡田耕三に宛てた夏目漱石の書簡などを購入した。また、愛好家の方から、多田裕計の絵画、書簡、写真、関係者から津村節子氏撮影の写真や則武三雄の書、伊藤柏翠の短冊などの寄贈を受けた。

#### (4) おしどり文学館協定記念事業の開催

当館では、協定特集展示「津村節子と吉村昭～歌人・俳人を描いて～」を開催する一

方、荒川区吉村昭記念文学館では、トピック展示「津村節子「白百合の崖」—山川登美子の人生と歌」を開催した。また、第27回風花随筆文学賞授賞式に、荒川区から館長が出席、朗読会「津田寛治が読む「破獄」「果てなき便り」」を職員が聴講、その他リモート会議を実施し、活動状況など荒川区職員との情報交換を行って交流を深めた。

## 2 刊行物

### (1) 文学ファイル

タイトル	発行日	部数	備考
岡部文夫	令和6年3月	5,000部	A5判
子ども向けかこさとし	令和6年3月	5,000部	A5判

### (2) 広報誌

タイトル	発行日	部数	備考
福井県ふるさと文学館報 第10号	令和6年3月31日	1,500部	年刊、A5判
ふるさと文学館ふくい No.56~61	令和5年4月~令和6 年1月	毎回 2,000部	ほぼ隔月刊 A4判

### (3) 作品集

タイトル	発行日	部数	備考
ふくい文学ゼミ 八期生作品集 (令和4年度受講生)	令和6年3月31日	500部	A5判

## 3 運営費状況（令和5年度決算）

費目	金額(千円)	事業概要
資料整備費	6,184	原稿等資料購入 映像使用料 委託（複製作成、補修、デジタル化等）
展示事業費	11,936	通信運搬（美専車） 委託（展示造作、デザイン等） 使用、賃借料
教育普及費	5,345	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・ 文学フェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等 風花随筆文学賞
ふるさと文学館利用拡大事業 調査研究費	361	音声データ収録・配信 おしどり文学館事業
管理運営費	10,179	報償費（資料評価会議等）、展示保守点検 受付業務委託
貴重資料収蔵棚整備事業	4,793	収蔵棚購入工事請負費
計	38,798	

令和5年度 取組と達成目標 —ふるさと文学館

	通常・例年・継続	チャレンジ・挑戦・新規
資料の収集 ・整理、 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 貴重資料、映像資料の収集、整理 資料購入・受入 164点 (R4:161点)</li> <li>(2) 所蔵資料のデジタル化 1,120コマ (R4:923コマ)</li> <li>(3) レファレンス対応 16回 (R4:17回)</li> <li>(4) デジタルアーカイブ画像公開件数 50件</li> <li>(5) 公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握 ・資料調査 2回</li> <li>(6) 映像資料の有効活用 ・映像資料リストの作成</li> <li>(7) 福井ゆかり作家資料の最新情報の把握 ・全国文学館への資料情報提供依頼 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 貴重資料収蔵庫の整備</li> <li>(2) 映像・音声資料の公開準備 ・著作権調査資料 5点</li> <li>(3) デジタルデータを用いた収蔵資料の周知 ・ホームページ、SNSでの収蔵資料紹介</li> <li>(4) 未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用 ・プロローグゾーンで未展示資料を展示 20点 ・映像・音声資料のピックアップ紹介 8点</li> <li>(5) SNSを活用した情報収集 ・アンケート機能を利用した調査</li> </ul>
文学の魅力 の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 常設展・企画展の実施 15回 ・企画展 2回、新収蔵展1回、特集展示 10回、 常設展示 3回</li> <li>(2) 吉村昭記念文学館との連携 ・おしどり文学館協定展示 1回</li> <li>(3) 全国文学館協議会との連携</li> <li>(4) 図書館内カフェとの連携 ・コラボ企画 2回</li> <li>(5) 県内文芸団体との連携 ・文学の小路での文芸作品展 5回</li> <li>(6) 来館者の利用促進 ・スマートフォンを利用した音声ガイド、企画展 のテーマに関するイベント開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 絵本原画や写真などを取入れた展示、県外の 著名な作家や作品等の紹介 ・大型企画展の実施、県外の作家作品展示 2回</li> <li>(2) 中高生向け教育・普及活動の強化 ・子ども向けツール作成 2件 ・中高校生向けワークショップ等イベントの開催</li> <li>(3) 新しい手法を取り入れた展示、観覧者が参加で きる双方向型展示 ・SNSを取り入れた展示、作品世界を表す立体 展示</li> <li>(4) 他館展示パネルなどの活用 ・他館保有パネルの展示 2回 (新美南吉記念館、土屋文明記念文学館)</li> </ul>
文学活動や 交流の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 著名作家、福井ゆかりの作家等の講演会 ・講演会、文学講座等 15回</li> <li>(2) 作家を志す若者への支援 ・文学ゼミ参加人数 のべ 157人</li> <li>(3) SNSを活用した展示・イベント情報発信 ・SNS投稿回数 381回、うちインスタグラム 83回</li> <li>(4) 風花随筆文学賞の円滑な運営</li> <li>(5) 来館者志向、ニーズの把握 ・利用者アンケート結果の分析、活用</li> <li>(6) 効率的な広報の実施 ・広報物の配布計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新たなPR先の開拓(若年向け)</li> <li>(2) 県内文芸団体の交流 ・文学フェスタの充実</li> <li>(3) 学校との連携 ・学校との連携展示 0回</li> <li>(4) 三館連携の企画の実施 ・統一テーマによる展示 2回</li> <li>(5) 児童生徒の来館促進 ・文学ファイル(子ども編)作成</li> <li>(6) デジタルサイネージの活用 ・サイネージ映像の更新 4回</li> </ul>

### Ⅲ 行事实施状況

#### 1 展示事業

##### (1) 企画展

会期	企画展名	観覧者数
3/1(水)～6/4(日)	コレクション展「新収蔵津村節子展 津村節子という生き方」	13,060人
4/22(土)～6/4(日)	「新収蔵品展 2023」	6,290人
7/8(土)～9/18(月・祝)	夏季企画展「堀内誠一 子どもの世界」	18,437人
10/27(金)～R6.2/4(日)	秋季企画展「俵万智展 #たったひとつの「いいね」『サラダ記念日』から『未来のサイズ』まで」	27,318人

##### (2) プロローグゾーン展示

###### ①特集展示

会期	展示名
3/17(金)～6/21(水)	「出会い、別れ、旅立ちの季節—福井の春を描いた文学—」
4/15(土)～6/21(水)	加古里子没後5年「ものをつくる」
6/23(金)～8/23(水)	3館連携特集「福井のこわい話」
8/25(金)～10/22(日)	吉田正俊没後30年特集展示
R6.2/6(火)～4/7(日)	「ようこそ文学館へ～2023年、福井県ふるさと文学館に来館された作家たち～」
R6.2/6(火)～6/26(水)	北陸新幹線福井・敦賀開業記念 3館連携特集「福井の旅と文学」

###### ②タイムリースポット

会期	展示名
3/17(金)～6/21(水)	「祝 谷崎由依氏京都市芸術新人賞受賞」
6/23(金)～8/23(水)	「追悼・平岩弓枝さん」
8/25(金)～9/27(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー「津村節子と吉村昭～おしどり文学館協定の歩み～」
9/29(金)～12/20(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー「津村節子と吉村昭～歌人・俳人を描いて～」
12/22(金)～R6.2/4(日)	「『源氏物語』と俵万智」
R6.2/6(火・祝)～4/7(日)	「『源氏物語』と作家たち」
R6.2/6(火・祝)～5/22(水)	「祝 荒川洋治氏大岡信賞受賞」

##### (3) ギャラリー文学の小路展示

会期	展示名	備考
4/29(土)～5/14(日)	新美南吉記念館 新美南吉パネル展	協力:新美南吉記念館
7/21(金)～7/25(火)	福井県小中学生写生画コンクール入賞作品展	協力:中日新聞社・日刊県民福井
8/25(金)～10/25(水)	群馬県立土屋文明記念文学館移動展「歌人 土屋文明」パネル展	協力:群馬県立土屋文明記念文学館
10/12(木)～10/25(水)	絵手紙コンクール入賞作品展	協力:福井市教育委員会
R6.3/29(金)～4/21(日)	「あなたを想う恋のうた」入賞作品展	協力:越前市万葉の里・恋のうた募集実行委員会

##### (4) その他

###### ①音声ガイド

福井ゆかりの作家について著名人が語る音声ガイドを制作し、館内利用(無料)機器貸出のほか、各自のスマートフォンからも試聴可能とした(R5年度)。

対象作家	収録作家	備考
高見順	荒川洋治氏	H30 年度
三好達治	池澤夏樹氏	H30 年度
山川登美子	津村節子氏	R1 年度
橘曙覧	俵万智氏	R1 年度

展示資料解説の特別コンテンツを制作し音声ガイドで利用

企画展	解説資料数	期間
「新収蔵品展 2023」	3 点	4/22(土)～6/4(日)
夏季企画展「堀内誠一 子どもの世界」	7 点	7/8(土)～9/18(月・祝)

## ②文学館購入雑誌等の閲覧

プロローグゾーン内くつろぎコーナーにおいて閲覧可能

「季刊文科」「近世文藝」「日本近代文学」「日本文学」「三田文学」「早稲田文学」「公募ガイド」ほか

全国の文学館発行の出版物等

## 2 教育普及事業

### (1) 一般向けイベント

#### ①作家講演会

日時	演題	講師	会場	参加者数
7/29(土) 14:00～15:30	トークイベント「父と絵のこと 子どもたちへのまなざし」	堀内花子氏 聞き手 林綾野氏	多目的ホ ール	59 人
10/8(日) 14:00～15:40	「世界の名作」の輝き	荒川洋治氏	多目的ホ ール	110 人
11/5(日) 14:00～15:30	俵万智氏トークイベント	俵万智氏 聞き手 宮下俊氏	多目的ホ ール	190 人
11/12(日) 14:00～15:30	文学フェスタ講演会 宮下奈都×谷崎由依トークイ ベント「福井で生まれ育つこと、 小説を書いていくということ」	宮下奈都氏 谷崎由依氏	多目的ホ ール	160 人
R6. 3/3(日) 14:00～15:30	第 27 回風花随筆文学賞記念対談 「小説と随筆の間—物語を書く ということ」	川上弘美氏 聞き手 山口昭男氏	多目的ホ ール	126 人

#### ②文学講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
6/3(土) 14:00～15:10	「深田久弥と福井」	深田森太郎氏	多目的ホ ール	110 人
7/28(金) 14:00～15:30	「堀内誠一 子どもの世界」関 連ワークショップ「飾ってかわ いいくるくる回るモバイル作 り」	堀内紅子氏	研修室	24 人
12/16(土) 14:00～15:30	「個的な自分を書ききること— 人を信じる心と傷つく心と— →悪天候のため中止、より映 像コーナー個人ブースにて視聴 可能	鈴江敏郎氏	多目的ホ ール	—

③文章講座（共催：風花随筆文学賞実行委員会）

日時	演題	講師	会場	参加者数
7/15(土) 14:00～15:30	第1回文章講座 「いい汗かくように、文章がかけたらいいね」	三好修一郎氏	研修室	23人
9/9(土) 14:00～15:30	第2回文章講座 「楽しく書きましょう」	増永迪男氏	研修室	21人
10/21(土) 14:00～15:30	第3回文章講座 「エッセイは「コース料理」でいこう」	中村睦氏	多目的ホール	31人

④創作講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
11/12(日) 10:30～12:00	文学フェスタワークショップ 「創作を志す人のための本づくりワークショップ」	佐藤実紀代氏	研修室	25人
12/17(日) 14:00～15:30	「戯曲とは演技者へのラブレター—役者のために書いてみよう」	鈴江敏郎氏	研修室	10人

⑤映画上映会

日時	作品名	会場	参加者数
4/30(日) 14:00～14:45	キッズ文学キネマ 「ごんぎつね」「たろうのともだち」	研修室	10人
5/5(金・祝) 14:00～14:45	キッズ文学キネマ 「手ぶくろを買いに」「きょうはなんてうんがいんだろう」	研修室	12人
8/5(土) 14:00～15:30	夏休み文学キネマ 「豆富小僧」	研修室	40人
R6.1/13(土) 14:00～16:00	現代文学キネマ 「あん」	多目的ホール	57人

⑥クイズラリー

期間	名称	参加者数	グッズ
3/1(水)～6/4(日)	新収蔵「津村節子展 津村節子という生き方」	450人	マグネット
7/2(土)～9/4(日)	夏季企画展クイズラリー	1,921人	缶バッジ

⑦その他

日時	行事名	会場	参加者数
7/30(日), 8/6(日) 11:30～12:00	図書館探検隊	展示室 映像コーナー	42人
8/20(日) 14:00～14:30	堀内誠一展関連 子ども室ワークショップ	映像コーナー	13人

(2) 中高生向けイベント

① オーサートーク

日時	講師	会場	参加者数
12/12(火)13:00～14:00	宮島未奈氏	仁愛女子高等学校 (配信：福井南高校)	224人

② ジュニア文学カフェ

日時	タイトル	講師	会場	参加者数
6/2(金) 13:30~15:00	「書きたいことの探し方～面白い!ってどんな時?～」(共催:県高等学校文化連盟文芸部会) →悪天候のため中止、後日視聴	中村睦氏	多目的ホール	—

③ 出前文芸創作教室

〈詩〉

日時	講師	会場	参加者数
7/19(水)	詩人懇話会	坂井中学校	115人
11/10(木)	今村秀子氏	勝山中部中学校	58人

〈俳句〉

日時	講師	会場	参加者数
7/25(火)	西村圭子氏	春江中学校	12人

〈戯曲〉

日時	講師	会場	参加者数
5/20(土)	藤井織江氏	啓新高校	12人
5/28(日)		藤島高校	9人
6/21(水)		啓新高校	12人

〈エッセイ〉

日時	講師	会場	参加者数
12/13(水)	増永迪男氏	藤島高校	30人

(3) ふくい文学ゼミ

講師:上田恭弘氏(新潮社)

受講者数:10名

日時	カリキュラム	会場
7/1(土) 10:30~14:30	講座①…小説とは何か/上達の秘訣/とりあえずのヒント 講座②…作家という職業について	研修室
8/27(日) 10:30~14:30	講座③…表記について/キャラクターの重要性 講座④…合評	研修室
10/29(日) 10:30~14:30	講座⑤…ストーリーの要点/視点について 講座⑥…合評	研修室
R6.1/20(土) 10:30~14:30	講座⑦…文章力を付ける/取材の重み 講座⑧…合評	研修室
R6.2/17(土) 10:30~14:30	講座⑨…長編執筆の作法/新人賞について/著作権を知る 講座⑩…合評	研修室

(4) 文学フェスタ

日時	イベント名	会場	参加者数
11/12(日) 10:00~16:00	文学同人誌ブース	エントランスホール	13団体 40人

11/12(日) 10:30~12:00	文学フェスタワークショップ 「創作を志す人のための本づくりワークショップ」	研修室	25人	〈再掲〉
11/12(日) 14:00~15:30	文学フェスタ講演会 宮下奈都×谷崎由依トークイベント 「福井で生まれ育つこと、小説を書いていくということ」	多目的ホール	160人	
11/12(日) 15:15~16:00	同人誌グループセッション	エントランスホール	40人	
11/12(日) 9:00~18:00	同人誌スタンプラリー	エントランスホール 文学館カウンター	88人	
11/12(日) 9:00~18:00	福井の文学出版物展示コーナー	文学館前	—	
11/12(日)~ R6.2/4(日)の土日	秋季企画展開催中の俵万智氏にちなんだ特別メニュー (協力：足羽福祉会)	カフェあすわの木	期間限定提供	

### 3 他館との連携

#### (1) おしどり文学館

##### 〈展示〉

会期	展示名	会場
8/25(金)~9/27(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー 「津村節子と吉村昭~おしどり文学館協定の歩み~」	タイムリースポット
9/29(金)~12/20(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー 「津村節子と吉村昭~歌人・俳人を描いて~」	タイムリースポット

##### 〈交流〉

##### イベント

日時	参加者	備考
R6.3/3(日)	秋元ゆいの森担当課長、深見学芸員/岩田主任	荒川区にて朗読会「津田寛治が読む「破獄」「果てなき便り」を聴講
R6.3/20(日)	秋元ゆいの森担当課長	福井県にて第27回風花随筆文学賞授賞式・川上弘美氏記念対談出席

##### リモート会議

日時	参加者	備考
6/27(火) 14:00~14:50 9/12(火) 16:10~17:10	荒川区：秋元ゆいの森担当課長、北山学芸員 福井県：三崎館長、小林主任、岩田主任、尾崎主任、藤井主査	Teamsにて、近況報告、R5~6年度の連携について協議

##### 〈その他〉記念グッズの製作・配布

吉村昭記念文学館	『白百合の崖』にちなんだ越前和紙ポストカードとペーパーファイル	おしどり文学館協定記念講演会(荒川区)、文学フェスタ記念講演会(福井県)にて参加者に配布
ふるさと文学館	おしどり文学館協定ロゴ入りおしどりコースター	

(2) 連携展示

日時	展示名	連携先
4/29(土)～ 5/14(日)	新美南吉記念館 新美南吉パネル展	協力：新美南吉記念館
8/25(金)～ 10/25(水)	群馬県立土屋文明記念文学館移動展「歌人 土屋文明」パネル展	協力：群馬県立土屋文明記念文学館

<再掲>

## IV 統計

## 1 貴重資料等の整備概況

## (1) 作家別貴重資料収集状況

(単位：点,冊)

	自筆資料、愛用品等			その他 (写真, 本人蔵書等)			関係者の直筆資料 (挿絵, 家族・師弟関係など)			総計		
	～R4	R5	累計	～R4	R5	累計	～R4	R5	累計	～R4	R5	累計
ふるさとゆかりの作家30人	4,480	148	4,628	12,061	26	12,087	571	0	571	17,112	174	17,286
その他	548	6	554	19	1	20	2	1	3	569	8	577
総計	5,028	154	5,182	12,080	27	12,107	573	1	574	17,681	182	17,863

※各複製含む

## (2) 令和5年度受入資料内訳

(単位：点,冊)

	購 入	寄 贈		製作その他	計
		資 料	蔵 書		
ふるさとゆかりの作家30人	56	109	8	2	175
その他	1	5	1	0	7
計	57	114	9	2	182

## (3) 主な新収蔵資料

## ①購入

(単位：点)

作家名	点 数	主な資料
中野重治	2	「指輪」[原稿]
多田裕計	16	多田裕計発楠本憲吉宛[書簡]
水上勉	1	「新宮、それから仲原清さんのこと」[草稿]
山崎朋子	31	「らいてう先生と怨先生」[草稿]
三好達治	5	「卒業論文」[自筆資料]
皆吉爽雨	1	「活けて引く身のひそけさも月か供華」[掛軸]
夏目漱石	1	夏目金之助発岡田耕三宛[書簡]

## ②寄贈

(単位：点,冊)

作家名	点 数	主な資料
多田裕計	111	「ひまわりシリーズ」[絵画]
津村節子	2	「文学への姿勢」[原稿]
則武三雄	1	「月光のあやまりかと思ったら…」[色紙]
伊藤柏翠	1	「春日燦文化の華を一堂に」[短冊]
裕夢	1	「千歳くんはラムネ瓶のなか」 raemz画 [複製]

#### (4) 映像資料等の整備状況

(単位：点)

	点数	累計	主な作品名
外部作成	0	40	
自館作成	5	100	俵万智展関連トークイベントほか
計	5	140	

## 2 利用状況

### (1) 企画展観覧者数

会 期		企画展名	観覧者数
4/22(土)～6/4(日)	37日	新収蔵品展2023	6,290人
7/8(土)～9/18(月・祝)	66日	夏季企画展「堀内誠一 子どもの世界」	18,437人
10/27(金)～R6.2/4(日)	78日	秋季企画展 俵万智展「#たったひとつの「いいね」『サラダ記念日』から『未来のサイズ』まで」	27,318人

### (2) 利用者数

(単位：日,人)

年度	利用者数	累計	開館日数
H26	21,642	21,642	48
H27	81,779	103,421	299
H28	61,583	165,004	298
H29	69,379	234,383	299
H30	61,910	296,293	288
R1	70,304	366,597	301
R2	46,883	413,480	265
R3	62,608	476,088	293
R4	61,014	537,102	293
R5	76,405	613,507	297

### (3) 職場体験・研修・見学の受入

(単位：人)

団体数	人数
28	1,116

## V 資料編

### 1 文学館概要

- (1) 延床面積 1, 020㎡ (県立図書館の郷土・環日本海コーナーを再編、改修)
- (2) 建物の特長
- ・図書館空間と融合する開放的なエントランス
  - ・展示室周囲、プロローグゾーン棚突板、展示ケースに県産スギ材を使用
  - ・代表作家ゾーン、企画展ゾーンは防火区画とし、外光を遮断。可動間仕切りや、パネル交換が可能なシステム壁面を採用し、展示内容に合わせレイアウトの変更が可能
- (3) 基本理念
- ・ゆかりの作家や福井県を扱った作品に関する資料を収集、紹介し、福井の文学を後世へ伝えていく。
  - ・福井ゆかりの文学の魅力を発信し、福井県の魅力の再発見、理解を促進する。
  - ・県民が文学に親しみ、学び、交流できる機会を提供し、文学を通じた新たな文化活動を促進する。
- (4) 活動の特長
- ・図書館、文書館、文学館の3館併設のメリットを活かした機能、活動
  - ・文学に関する文字以外の映像・音声資料も合わせ、作家の実像や作品の背景等を紹介
  - ・文学を志す若い世代の創作活動支援
- (5) 各ゾーン
- ①プロローグゾーン (168㎡)  
福井ゆかりの作家(約30人)、福井を描いた文学作品(約400作品)、福井県文学マップ(約120ヶ所)など、福井の文学の概略を紹介(展示資料約120点)
  - ②代表作家ゾーン (153㎡)  
中野重治、高見順、水上勉、三好達治、津村節子を紹介(展示資料約70点)
  - ③企画展ゾーン (147㎡)  
福井ゆかりの作家をはじめ様々なテーマの企画展
  - ④映像コーナー (47㎡)  
「福井を愛した文人たち」(12分)の放映、個人ブースでの映像・音声試聴(47点)
  - ⑤図書ゾーン (430㎡)  
展示ゾーン周囲に書架を配置、貸出用図書、県内文学同人誌など約7,000冊を排架



## 2 沿 革

年 度	事 項
平成 14 年度	福井県立図書館が新築移転し、「郷土文学コーナー」を新設（2月1日）
18 年度	「ふるさと文学コーナー」として拡充
22 年度	福井県教育・文化創造会議において文学館の整備が提言 福井県民の将来ビジョンで整備の必要性が謳われる
23 年度	福井新々元気宣言に、ふるさと文学館の整備が明記
24 年度	「福井ふるさと文学館（仮称）基本計画」策定（3月）
25 年度	基本設計、実施設計、建築改修工事着手
26 年度	展示工事着手 福井県ふるさと文学館開館（2月1日） 津村節子氏特別館長就任 開館記念特別展「津村節子と吉村昭 はてなき旅～夫婦作家の軌跡～」開催（2月1日～4月5日） 開館記念対談（津村節子氏、藤田宣永）開催
27 年度	日本文藝家協会との共催シンポジウムを開催（6月） 文学ゼミ開始
29 年度	全国文学館協議会展示情報部会を開催（10月27日～28日） 東京都荒川区立ゆいの森あらかわ吉村昭記念文学館と「おしどり文学館協定」を締結（11月5日） 図書館・文書館開館 15 周年、ふるさと文学館開館 3 周年記念事業を開催（1～2月） 加賀美幸子氏による朗読CD「聞いて楽しむふるさと文学」を発行（2月） 豪雪により、閉館時刻を繰り上げ（2月7～9日17時閉館）臨時休館（2月12日）
30 年度	プロログゾーン内にくつろぎコーナーを新設（7月） 台風のため、9月4日を臨時休館、9月30日を14時閉館 第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）で来県された寛仁親王妃殿下が、展示室観覧（10月6日） システム更新のため、3月18日～31日を臨時休館
令和元年度	ふくい風花随筆文学賞の特別審査委員長に出久根達郎氏が就任。津村節子氏は顧問となる 台風のため、10月12日を12時閉館 開館 5 周年記念事業実施 冬季企画展「文学の食卓展」（1月～3月）、「高校生文学演劇祭」（2月）
2 年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、3月28日～29日を臨時休館（3月） 新型コロナウイルス感染症対策のため、4月4日～5月10日を臨時休館 動画「詩人則武三雄ってどんな人？」、デジタル展示「福井の山と文学」を制作し非来館型のサービスを充実させた。（8月、2月） 大雪のため、令和3年1月10日～11日を臨時休館
3 年度	高見順の資料 67 点の画像を「デジタルアーカイブ福井」において公開（8月） 「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2021」優秀賞を受賞（11月）
4 年度	三好達治の資料 72 点の画像を「デジタルアーカイブ福井」において公開（12月） 図書館移転開館 20 周年記念 今村翔吾氏講演会「直木賞から旅に出て」開催（2月）
5 年度	秋季企画展 俵万智展「#たったひとつの『いいね』『サラダ記念日』から『未来のサイズ』の観覧者が過去最高の 27,318 人を記録した。

### 3 風花随筆文学賞

運営：風花随筆文学賞実行委員会

事務局：ふるさと文学館

平成31年4月より出久根達郎氏が特別審査委員長に、津村節子氏が顧問に就任した。

令和2年度より「ふくい」を外し「風花随筆文学賞」とした。

#### (1) 事業内容

##### ① 風花随筆文学賞（第27回）

応募受付期間：一般の部 令和5年7月1日（土）～10月31日（火）

高校生の部 令和5年7月1日（土）～12月15日（金）

授賞式・記念講演：令和6年3月3日（日）

対象	応募作品数	一次審査選考数	入賞作品数
一般の部	1,125 編	30 編	6 編
高校生の部	2,690 編	30 編	6 編 (ほか佳作4編、奨励賞20編)
合計	3,815 編	60 編	12 編

##### ② ふるさと風花文庫の貸出

期間	学校名等
6/1～R6.3/31	足羽高校
4/1～R6.3/31	吉村昭記念文学館

##### ③ 文章講座（共催：ふるさと文学館）

	日時	講師	会場	参加者数
第1回	7/15(土) 14:00～15:30	三好修一郎氏	研修室	23人
第2回	9/9(土) 14:00～15:30	増永迪男氏	研修室	21人
第3回	10/21(土) 14:00～15:30	中村睦氏	多目的ホール	31人

<再掲>

##### ④ 刊行物

タイトル	発行日	発行部数	備考
第26回風花随筆文学賞入賞作品集	令和5年7月	600部	B5判

#### (2) 実行委員会

##### ① 理事会

	日時	会場
第1回	6/7(水) 11:00～11:30	県立図書館研修室
第2回	2/8(木) 14:00～15:00	県立図書館大会議室

##### ② 企画・審査委員会

	日時	会場
第1回	5/12(水)10:30～11:30	県立図書館大会議室
第2回	1/31(水)13:30～16:00	県立図書館大会議室

(3) 令和5年度理事

	氏 名	役 職 名
会長	豊北 欽一	福井県教育長
理事	谷出 千代子	かこさとしふるさと絵本館長
理事	近藤 孝之	福井新聞社営業事業局長
理事	増永 迪男	企画・審査委員長
理事	山口 昭男	中央経済社常勤監査役
監事	中川 幸一 (6/30まで) 田口 政之 (7/1より)	げんでんふれあい福井財団事務局長
監事	坂井 裕之	福井新聞社営業事業局局長待遇